

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2011-526796(P2011-526796A)

【公表日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2011-503105(P2011-503105)

【国際特許分類】

A 47 C 7/46 (2006.01)

A 47 C 7/50 (2006.01)

【F I】

A 47 C 7/46

A 47 C 7/50 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月29日(2013.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前部及び後部を有する水平方向に延設されたシートと、

前部及び後部を有するとともにシートの下方にシートから離れて配置される台部と、

シートの後部の上方に配置された背面支持部と、

背面支持部と台座とシートとに連結された背面支持部用支柱と、

椅子の前部に配置された膝支持部と、

膝支持部と台部とシートとに連結された膝支持部用支柱と、を備え、

背面支持部及び膝支持部が、背面支持部と膝支持部との間の第1の最短距離を有する第1の位置と、第1の最短距離より短い背面支持部と膝支持部との間の第2の最短距離を有する第2の位置とを有し、

第1の最短距離から第2の最短距離への移動が、シートの下方への移動により起こる、前部及び後部を有する人間工学に基づく事務用椅子。

【請求項2】

背面支持部用支柱が台部の前部及びシートの前部に連結され、膝支持部用支柱が台部の後部及びシートの後部に連結される請求項1に記載の事務用椅子。

【請求項3】

背面支持部用支柱が、背面支持部用支柱を第1の軸を中心に台部に対して枢動可能とする第1の継手により台部に連結され、膝支持部用支柱が、膝支持部用支柱を第2の軸を中心に台部に対して枢動可能とする第2の継手により台部に連結される請求項2に記載の事務用椅子。

【請求項4】

背面支持部用支柱が、背面支持部用支柱を第1の軸を中心にシートに対して枢動可能とともに背面支持部用支柱を第2の軸に沿ってシートに対して摺動可能とする第1の継手によりシートに連結され、膝支持部用支柱が、膝支持部用支柱を第3の軸を中心にシートに対して枢動可能とともに膝支持部用支柱を第4の軸に沿ってシートに対して摺動可能とする第2の継手によりシートに連結される請求項2に記載の事務用椅子。

【請求項5】

背面支持部が第1の位置に付勢されている請求項2に記載の事務用椅子。

【請求項6】

背面支持部が油圧シリンダーにより第1の位置に付勢されている請求項5に記載の事務用椅子。

【請求項7】

背面支持部がばねにより第1の位置に付勢されている請求項5に記載の事務用椅子。

【請求項8】

膝支持部が第1の位置に付勢されている請求項2に記載の事務用椅子。

【請求項9】

背面支持部が背面支持部用支柱に対して枢動可能に連結されている請求項1に記載の事務用椅子。

【請求項10】

膝支持部が膝支持部用支柱に対して枢動可能に連結されている請求項1に記載の事務用椅子。

【請求項11】

シートの後部の上方に配置された背凭れを備え、シートに対する背凭れの位置が第1の位置から第2の位置に変化しない請求項1に記載の事務用椅子。

【請求項12】

前記背凭れが上背部と下背部とを有し、第1の位置においては背面支持部が上背部と下背部の間に配置される請求項11に記載の事務用椅子。

【請求項13】

背面支持部と台部とシートとに連結される第2の背面支持部用支柱を備える請求項1に記載の事務用椅子。

【請求項14】

前記膝支持部が左膝支持部であり、右膝支持部及び第2の膝支持部用支柱をさらに備えるとともに、膝支持部用支柱が左膝支持部に連結され、第2の膝支持部用支柱が右膝支持部に連結される請求項1に記載の事務用椅子。

【請求項15】

左膝支持部をシートの前の位置から第1の位置より左側の位置へ移動可能とするべく膝支持部用支柱が蝶番を有し、右膝支持部をシートの前の位置から第1の位置より右側の位置へ移動可能とすべく第2の膝支持部用支柱が蝶番を有する請求項14に記載の事務用椅子。

【請求項16】

前部及び後部を有する水平方向に延設されたシートと、
シートの後部の上方に配置された背面支持部と、
椅子の前部に配置された膝支持部と、
シートに圧力がかけられたときに背面支持部をシートの方向へ枢動させる第1の支柱の機構と、
シートに圧力がかけられたときに膝支持部をシートの方向へ枢動させる第2の支柱の機構とを備える、前部及び後部を有する人間工学に基づく事務用椅子。

【請求項17】

車輪基部を備え、第1の支柱の機構が、背面支持部及びシートに装着され車輪基部に対して枢動可能に連結されている第1の支柱を有するとともに、第2の支柱の機構が、膝支持部及びシートに装着され車輪基部に対して枢動可能に連結されている第2の支柱を有する請求項16に記載の事務用椅子。

【請求項18】

前部及び後部を有する水平方向に延設されたシートと、
シートの後部の上方に配置された背面支持部と、
椅子の前部に配置された膝支持部とを備え、
シートと背面支持部と膝支持部とが、シートに着座がなされたとき背面支持部と膝支持

部とが互いに接近する方向に枢動するような構成で互いに連結されている、前部及び後部を有する人間工学に基づく事務用椅子。

【請求項 1 9】

前記構成が、単一の枢動の自由度を有するとともに平行移動の自由度を有しない複数の継手と、単一の枢動の自由度及び単一の水平方向の自由度を有する複数の継手とを含む請求項1 8に記載の事務用椅子。